

芸術の秋

この秋、札幌出身の芸術家の作品に触れてみませんか

札幌彫刻美術館



本館



記念館

宮の森4条12丁目
☎642-5709



石郷 本郷 新
(1905~80)

札幌彫刻美術館は、札幌出身で日本を代表する彫刻家本郷新の作品を中心に、国内外の著名作家の彫刻・絵画を収蔵。

中央区宮の森の閑静な住宅街にあり、道路を挟んで本館と記念館に分かれています。本館には主に彫刻作品が収められ、本郷のアトリエを改装した記念館には、彫刻にかかわる資料や制作道具、油絵、デッサンなどの作品が陳列され、中でも石郷の原型は見応えがあります。



石郷原型



「わだつみのこえ」

利用案内

開館時間：4～9月 午前10時～午後5時
10～3月 午前10時～午後4時
休館日：月曜日（月曜日が祝日のときは翌日）、年末年始、展示替えなどの臨時休館日
観覧料：一般300円（250円）、高校・大学生200円（100円）、小中学生100円（50円）※（ ）内は10人以上の団体料金。65歳以上の方、身体障害者の方は無料
特別展観覧料：その都度定めます

10月の展覧会

北の彫刻展2002

10月14日（月・祝）まで開催。

北海道に拠点をもち10年以上の制作活動をしている作家8人による、自由な視点で制作された作品が出品。人体をモチーフにした具象作品をはじめ、石や木、金属を使った抽象作品など多彩です。



「飛翔」
菅原尚俊作

素材と表現展(同時開催 素描展)

10月19日(土)から翌年3月23日(日)まで開催。

素材の持ち味を生かしながら制作した本郷新の作品の数々を紹介。また、本郷新の未公開のスケッチブックも公開します。早いタッチで線描し彩色した作品は魅力的です。



「土と火の祭り」

三岸好太郎美術館



北2条西15丁目
☎644-8901



三岸 好太郎
(1903~34)

札幌出身の画家・三岸好太郎の作品を展示している三岸好太郎美術館。三岸が生前に着工されながら完成を見ずに亡くなった最後のアトリエのイメージを生かしています。作品には、大正から昭和にかけて活躍した三岸好太郎の短い生涯が垣間見られます。

10月の展覧会

二人の超現実主義者
＜福沢一郎と三岸好太郎＞
(11月17日(日)まで開催)

超現実主義をめぐる福沢一郎と三岸好太郎の表現を比較します。

利用案内

開館時間：午前10時～午後5時
休館日：月曜日（月曜日が祝日のときは開館）、年末年始、祝日開館の振り替え、展示替え期間など
観覧料：一般300円（250円）、大学生150円（100円）、高校生以下は無料※（ ）内は10人以上の団体料金。65歳以上の方、心身に障害のある方、生活保護を受けている方などは無料
特別展観覧料：その都度定めます

広告欄